

実施計画事業名		生活援護事務		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		生活福祉部社会福祉課		課長(主幹)名	熊谷 悦子			
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉					
	政策	3	支え合いだれもが安心して暮らせるまちづくり					
	施策	4	暮らしを支える諸制度を適正に運用します					
	関連施策							
現状と課題	生活保護世帯数は全国的な傾向と同じく平成11年から急増し、平成19年においては平成10年と比べて151.2%となっている。本市の保護率(人口千人あたり)16.6%は、全国的で上位に位置する北海道24.4%と比較すると低いものの、全国12.0%より高い状況となっている。また、就労による自立が難しい高齢者の保護率が年々高まっている状況にある。毎年度、本市の生活保護運営方針を作成して保護を実施しているが、生活相談に対する適切な対応や生活保護の適正な実施、他法他施策と連携した支援が図られるよう引き続き取り組む必要がある。							
目的	生活に困窮する世帯に、最低限度の生活を保障するとともにその自立を助長する							
施策展開の	①生活保護…地域の経済状況が厳しい中、今後も受給世帯の増加が見込まれるが、必要な援助を行いながら、自立支援プログラム等(生活保護受給者等就労支援活用プログラム、精神障害者自立支援プログラム、多重債務者自立支援プログラム)の活用により、自立を支援していく。また、保護件数の推移状況によっては、適正なケースワークが行える人員配置を考慮する。 ②その他…国が行うサハリン一時帰国者支援事業の受入、法に基づく行旅病人等への援護を適正に実施する							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	生活保護世帯への訪問件数		件	目標	2,370	2,440	2,590	
説明	自立助長に向けた実態把握のための訪問援助回数(年間延べ件数)			実績	2,628	2,667		
	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
活動指標	ケースワーカー1人あたりの訪問援助件数		件	目標	33	34	36	
	ケースワーカー1人あたりの訪問援助件数(月平均訪問件数)			実績	37	37		
説明	サハリン残留邦人一時帰国者受入人数		人	目標	85	85	85	
	サハリン残留邦人一時帰国者の人数(年間)			実績	79	82		
説明	中国残留邦人等永住帰国者支援対象世帯数		世帯	目標	4	4	4	
	法に基づき生活支援を行った世帯数(毎年4月1日現在)			実績	4	4		
説明	生活保護申請件数		件	目標	90	90	90	
	生活保護申請のあった件数			実績	115	117		
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	1,167,207	1,250,000	1,238,694		
	国庫支出金		千円	840,959	956,939	923,361		
	道支出金		千円	37,325	44,150	59,122		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	5,920	8,129	4,901		
	一般財源		千円	283,003	240,782	251,310		
	この事業にかかる職員数		人/年	7.50	7.49	7.49		
人件費(B)		千円	50,933	52,085	52,085			
計(A+B)		千円	1,218,140	1,302,085	1,290,779			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>a</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 就労収入の減少や傷病などの理由により被保護世帯が増加しているが、今後もハローワークと連携を強化し自立に向けた支援を進める。

【2次評価】

成 果	<b>a</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--